

「森永乳業 エンゼル110番」 2009年 年間統計について

森永乳業株式会社は、「子育て奮闘中のお母さんたちのために何かお役に立てることは…」と考え、1975年5月に無料の育児相談窓口「エンゼル110番」を開設しました。相談件数は83万件(2009年12月時点)にのぼり、このたび2009年12月までのエンゼル110番への相談利用状況をグラフにまとめました。

2009年のデータピックアップ

相談対象の子どもの月齢(グラフ)を見ると、新生児と1ヵ月が大きく伸びている。エンゼル110番が開設以来33年間、0~3ヵ月の低月齢の赤ちゃんが33%前後を占めていたが、2009年は出産直後に母親の目に触れる媒体を作成したため、43%まで広がった。

ここ5年間の相談内容の移り変わり(グラフ)を見ると、2009年は前年と比べ「身体」の相談が3.4ポイント増加した。これは低月齢の赤ちゃんの相談が増えたことで、「便」「皮膚」「耳鼻咽喉」「新生児の生理」など、低月齢の赤ちゃん特有の項目が増加したためと思われる。

食生活に関する相談(グラフ)では、食生活全体の件数が前年比129.8%だったのに対し、母乳推進の流れを受けて「母乳相談」は、前年比148.6%と目立って増加した。

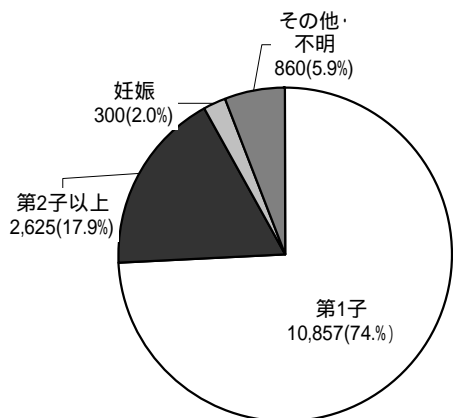
出産のお祝いに渡している森永乳業の印刷物にエンゼル110番の電話番号を掲載したところ、受信総件数が前年比132.0%と大きく増加した。

統計資料)「森永乳業エンゼル110番」の利用状況(2009年1月～12月年間統計)

開設からの累積相談件数(1975年5月から2009年12月) 836,123件
 1年の相談件数 14,642件(前年比132.04%)
 1カ月の平均相談件数 約1,220件
 1日の平均相談件数 約50.3件
 新規・再相談割合 新規相談 8,548件(58.4%) 再相談6,094件(41.6%)

*厚生労働省人口動態統計によると、2009年の出生数は2008年より、22,000人減って推計106万9000人の見通し。子どもの数は減ったが、相談件数は前年比132.0%と増加した。

子どもの属性別相談割合

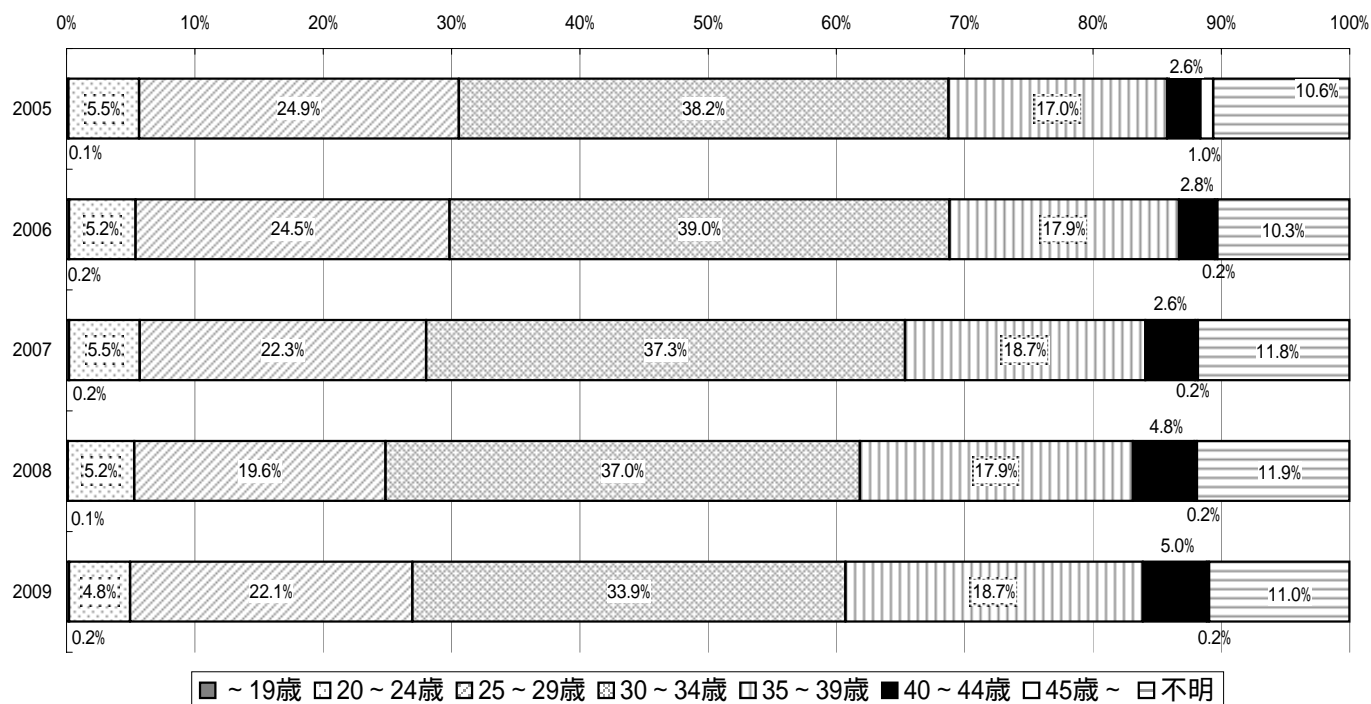


相談者の属性

	件数 (件)	割合 (%)
母親	13,839	94.5
父親	168	1.1
祖父母	230	1.6
その他	408	2.8
合計	14,645	100.0

*1回の相談で、父親と母親が途中で交替するケースあり。
 *父親が2008年の2倍の件数に。割合が0.4ポイント増加。

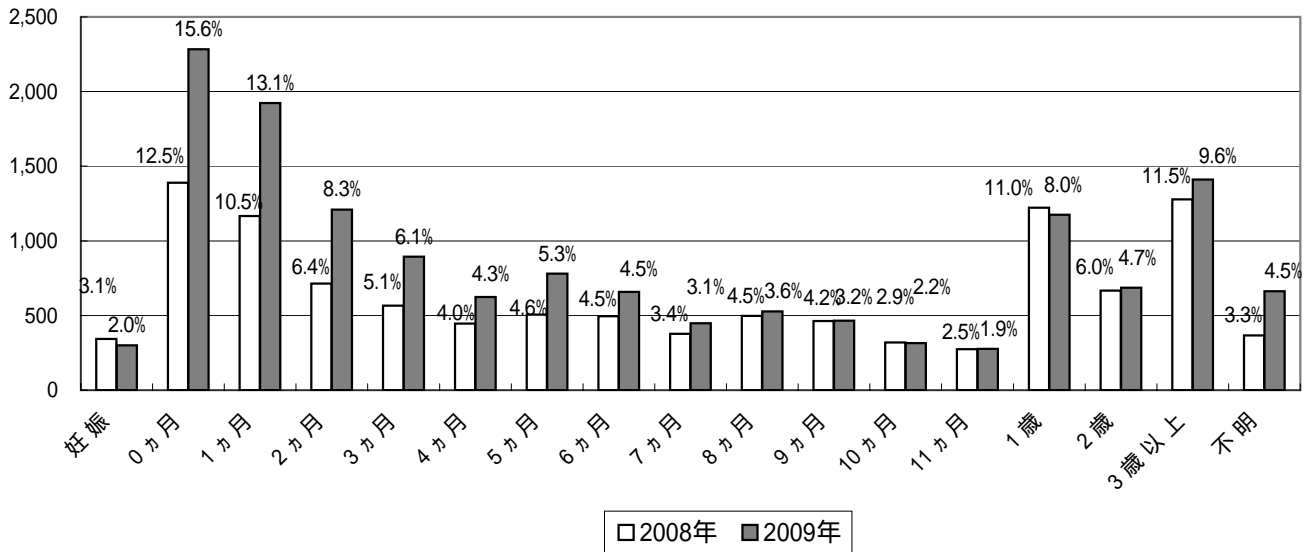
相談者の年代別利用割合の推移(2005～2009年)



*2006年より、相談者の年代の対象は母親のみ。
 *35歳以上の層が連続して増加し、2009年23.9%と4分の1弱を占めている。

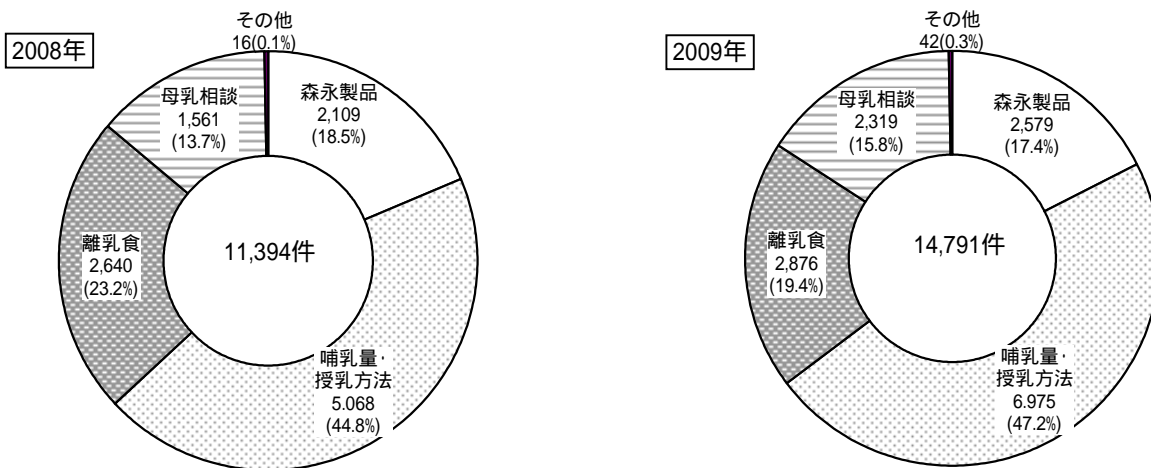
2008年・2009年の対象月齢別利用件数

(件数)



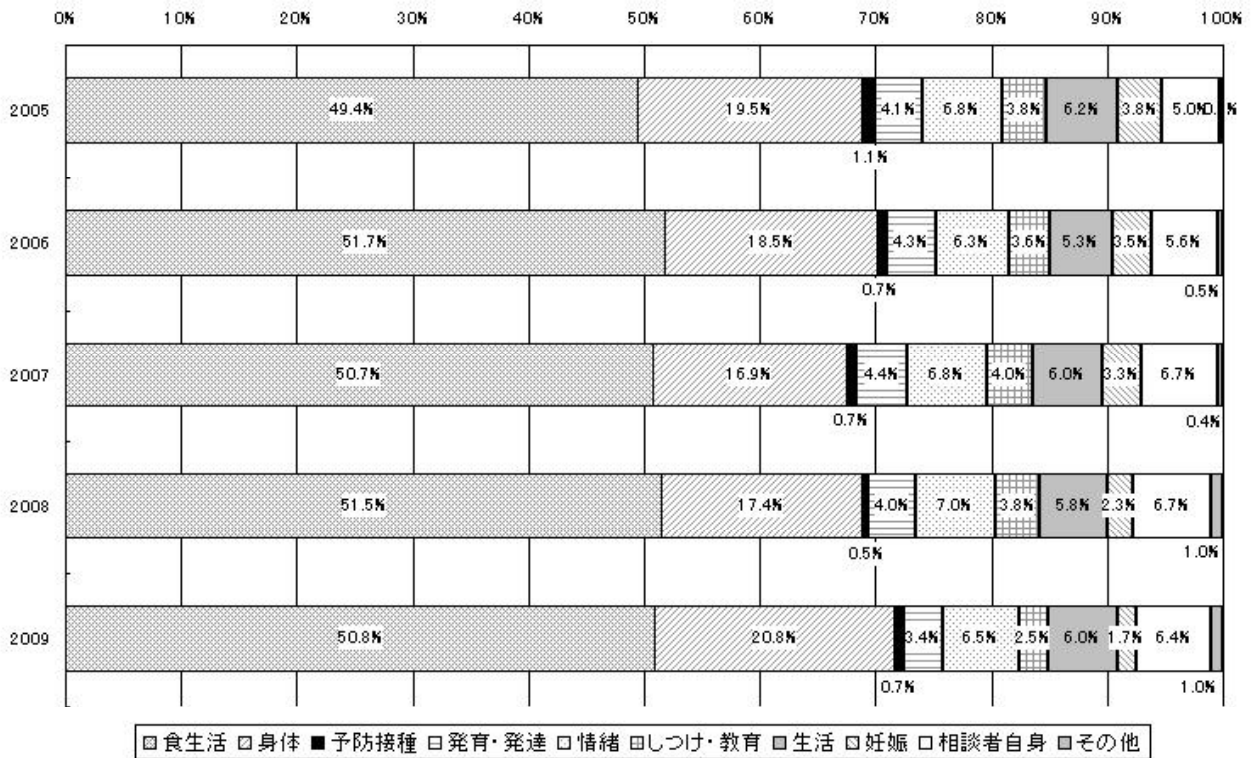
*エンゼル110番開設の1975年から2008年まで、0か月から3か月までの低月齢の赤ちゃんが33%前後を占めるといのが、33年間変わらない傾向だった。2009年は0か月・1か月児が増え、低月齢の赤ちゃんが全体の43.1%になった。

生活に関する相談内容の割合 (2008年と2009年の比較)



*食生活に関する相談の件数では、全体が前年比129.8%の伸びだったのに対して、「母乳相談」が1.5倍弱と目立って増えている。2007年に「授乳・離乳の支援ガイド」が策定され、母乳推進の影響が大きい。また、「母乳量・授乳方法」も前年比137.6%と増加した。

年間の相談内容割合の推移（2005～2009年）



*低月齢の赤ちゃんが増加したため「身体」の相談が増加。